



Moriya International Friendship Association

# 30周年記念誌



# 目次

---

会長挨拶	2
祝辞	3
姉妹都市からのお祝い	4

## <MIFA設立30周年記念事業>

30周年記念式典	6
MIFAフェスタ	8
ラオス招聘事業	10
マインブルク市訪問	12
グリーリー市訪問	14
灼熱の雪合戦	16
英語でおしゃべりワークショップ	17
それぞれの想い	18

## <活動報告>

大使講演会	20
MIFAコンサート	22
MIFAフェスタ	24
イヤーエンドパーティー	26
マインブルク市との交流	28
グリーリー市との交流	30
ラオスとの交流	32
東アジア青少年大交流計画	34
語学講座	36
日本語講座／日本文化体験講座	38
ホームステイ・ホームビジット	39
国際理解ワーキング・グループ	40
放課後子ども教室	41
MIFAを知ってもらうために	42
総会後の企画	44
意見交換会	46
表彰・新聞掲載	47
年表	48
歴代役員	58
歴代正副委員長	60
規約・組織図	62
編集後記	64

---

## 設立30周年



### 30周年を迎えて

守谷市国際交流協会 会長  
小川 一成

守谷市国際交流協会(MIFA)が30周年を迎えることができました。協会は1988年(平成元年)7月22日に守谷町商工会館で設立総会を行い、発足時の会員数は85人でスタートしました。今では412人を擁する団体に成長し、県下でもトップクラスの活動を展開しています。

「世界を知るシリーズ」大使講演会は1993年(平成5年)の第1回イスラエル大使から25回を重ねました。外国人のための「日本語講座」や「英語でおしゃべり」も人気の講座です。JICA筑波との交流は設立3年目から始まり、各国からの研修員と一緒に進むMIFAフェスタ「われら地球人」は国境を超えて一つになれる大きな事業になりました。ラオスの人材育成を目的に、主に中高生を招聘する「ラオス招聘事業」も今回が3回目となりました。一期生、二期生25人はラオスで期待通りの人材に育ち、立派な社会人として活躍しています。今回招聘した13人も先輩に続いて欲しいと思います。守谷市と姉妹都市を結んでいるドイツのマインブルク市、アメリカのグリーリー市と盛んに交流し、市が行う「青少年海外派遣事業」にも積極的に参加してきました。

本日ここに守谷市国際交流協会が30周年を迎えることができたのも、会員の皆さまの献身的な参加と、地域の団体の皆さまの深いご理解があったからだ改めて感謝申し上げます。

### 30周年を祝す



茨城県知事 大井川 和彦

このたび、守谷市国際交流協会が設立30周年迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。小川会長をはじめ会員の皆様方におかれましては、平成元年の設立以来、守谷市、ひいては本県国際交流の推進に多大なるご貢献をいただいておりますことに深く敬意を表する次第です。

貴協会では、姉妹都市との活発な交流に加え、外国人の方々と共に日本の伝統文化を楽しむ祭りや、各国大使等による講演会開催など、市民の国際感覚の涵養にご貢献されてきました。さらに、ラオスとの交流を通じた人材育成や、教育環境の改善にも多大なる成果を上げられております。

これらの取組が高く評価され、平成18年には「JICA理事長賞」を本県の団体に初めて受賞されたほか、県におきましても、語学教室などを通じた地域の国際交流意識醸成へのご貢献を踏まえ、「平成30年度茨城県国際化推進奨励賞」を贈らせていただいたところであり、貴協会の功績は県内外に広く認められております。

県といたしましては、昨年末に策定した茨城県総合計画において、大きな柱の一つに位置付けたグローバル社会で活躍する「人材」育成を、今後とも強力に進めてまいりますので、皆様方におかれましては、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この設立30周年を機に、守谷市国際交流協会の更なる発展を期待いたしますとともに、皆様方のますますのご健勝、ご活躍を心からお祈りしまして、お祝いの言葉といたします。



### 30周年を祝う

守谷市長 松丸 修久

守谷市国際交流協会の設立30周年おめでとうございます。皆様におかれましては、平成元年の協会設立以来、国際姉妹都市であるドイツ連邦共和国マインブルク市及びアメリカ合衆国グリーリー市との交流活動をはじめ、在留外国人へのボランティア日本語講座や日本文化体験の提供、各国大使講演会、小学校での国際理解教育活動など、長きにわたり市民への国際交流の機会の創出等に寄与いただき深く感謝申し上げます。

多岐にわたる協会の活動には、守谷市民のみならず近隣市町村からの参加者も多く、平成30年には3度目の茨城県国際化推進奨励賞の表彰を受けるなど、その活発性と影響力は県内でも大変評価されております。さらに、グリーリー市ノーザンコロラド大学の学生の市内中学校におけるALT実習や、ラオスの学生を招いてホームステイ受入を実施するなど、新たな試みに取り組む協会の皆様の熱意は、これからの守谷市を国際的に発展させる大きな糧となることでしょう。

情報の高度化が進む今日では社会情勢が急速に変化し、海外の情報は非常に身近なものになっています。そのような中で、我が市に姉妹都市市民との交流を望む方が多く居ることは、協会が長年様々な国際交流活動を継続してきたお蔭であると感じているところです。

守谷市は経済誌による全国都市「住みよさランキング」において全国1位にランクされるなど、高い評価を得ておりますが、市としての更なる発展のため、今後も守谷市国際交流協会の支援に取り組んでまいります。

最後になりましたが、守谷市国際交流協会のますますの発展を御祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



## 姉妹都市 ドイツ連邦共和国 バイエレン州 マインブルク市長祝辞



小川会長からの祝辞依頼状を届けた会員と

拝啓  
小川 様  
紳士、淑女の皆様

2018年3月23日

貴守谷市国際交流協会は創立30周年を迎えます。貴協会の数十年の存続に対しお祝いを申し上げます。というのも、今日に至るまでのこの長き年月の間、文化の壁を越え、まさに人的交流が続けられて来たことは決して当然のことではないからです。小川氏は、私たちの姉妹都市関係と貴協会において、ずっと貴重で重要な存在でしたし、現在もそうです。私は、貴協会の現在及び過去のすべての会員を代表し、貴殿の尋常でないご尽力に対し、貴殿に多大な感謝を申し上げます。また1990年以来、守谷市とマインブルク市との姉妹都市関係が存続していることにも貴協会の取組みに対して感謝申し上げます。貴協会は、全世界が共に成長すればするほど、ますます重要になります。私たちが一般にグローバリゼーションと呼ぶ発展は、しばしば人を飛び越えて起こり、その結果、一人一人の存在が見えなくなります。姉妹都市関係は、お互いが近づくことを自ら体験し、共に作り上げていく理想的な形としてあります。姉妹都市関係は、参加することで、地球規模の理解を少しでも前に進める機会を与え、多くの新たなことを知り、新しい友を得る機会を与えてくれます。

私は、貴殿個人と貴協会に対し今後の更なる存続とマインブルク市との喜ばしい協力関係を望むものです。

敬具  
マインブルク市長  
ヨゼフ・ライザー



## 姉妹都市 アメリカ合衆国 コロラド州 グリーリー市長祝辞



MIFA設立30周年記念事業グリーリー市訪問  
市長はじめホストファミリーの皆さまと

親愛なる小川会長と  
守谷市国際交流協会会員の皆様

2018年9月24日

私は、守谷市国際交流協会が設立30周年という節目を迎えたことを聞き、大変嬉しく思いました。この成果をお祝いいたします。

私たちは、日本の学生がこちらを訪問する際の準備や、私たちの市の学生が守谷市を訪問する際のもてなしでMIFAが大きな貢献をされていることに、ここグリーリーで心から感謝しています。

守谷市との姉妹都市の関係は1993年から始まりました。守谷市から戻ってきた学生たちは、日本を訪れ、あなた方の美しい市を訪問した際に受けた温かいおもてなしについて報告することで、私たちを大いに楽しませてくれています。

MIFAの会員の皆さんは守谷市と共に、伝統の、そして現代の日本文化を学生たちに教えるだけでなく、素晴らしいホームステイ体験を得られるようにと、準備してくれています。また、私たちは、アメリカの学生が日本を訪問した際に順応できるようにと、MIFAの皆さんが力を貸してくださっていることや、守谷市からグリーリー市を訪れる学生が、こちらで何をしようとするのかについて指導してくださっていることを、とても素晴らしいことだと思っています。

守谷市は、献身的に、熱心に文化交流プログラムの成功を願う情熱を持った市民がいることを本当に誇りに思うことができるでしょう。私たちは、何千マイルもの距離はありますが、あなた方と知り合えたことを本当に幸せに思っています。将来の長きにわたって私たちの素晴らしい関係が続きますことを願っています。改めて、設立30周年おめでとうございます。

敬具  
グリーリー市長  
ジョン・ゲイツ

# MIFA設立30周年記念式典

2018.10.14 / 中央公民館

MIFA設立30周年記念式典を開催。会員、協力団体の皆さまが参列しました。小川会長からは、30年の歩みを振り返るとともに、支援して下さった方々に感謝の気持ちが述べられました。知事や市長、姉妹都市を

はじめ多くの方から祝辞をいただき、MIFAの活動は様々な人たちに支えられていることを改めて実感する式典となりました。



小川一成 会長挨拶

式次第	来賓
開会の辞	茨城県知事 大井川 和彦
実行委員長挨拶	守谷市市長 松丸 修久
会長挨拶	守谷市議会議長 梅木 伸治
来賓祝辞	独立行政法人 国際協力機構
姉妹都市からの祝辞	JICA筑波国際センター
感謝状贈呈	所長 高橋 政行
日本語講座修了者スピーチ	公益財団法人
	茨城県国際交流協会 細谷 茂治



祝辞を述べられる大井川和彦知事



祝辞を述べられる松丸修久市長



開会の辞 渡邊雄一 副会長



櫻井由美 実行委員長挨拶



閉会の辞 山之内道子 副会長

いつもMIFAの活動を支えてくださっている協力団体の皆さまに感謝状を贈呈しました。



独立行政法人 国際協力機構  
筑波国際センター



アサヒビール株式会社 茨城工場



守谷市文化協会 茶道部



若柳秀寿社中(日本舞踊)



野木崎お囃子連



ボーイスカウト守谷第一団

## 「私がMIFAと出会って」 日本語講座修了者 曹燦

このたびはMIFA設立30周年、本当におめでとうございます。

私は、2012年の一カ月間、妻が長男を妊娠の際に来日し、初めてMIFAに参加しました。当時は、日本語が話せず、少しでも日本語に触れたい思いで日本語講座に参加させていただきました。その後、2014年からは、本格的に日本に住み始め、日本語講座にも毎回参加できるようになりました。そのため、私にとってMIFAは、初めての日本語・文化・社会との出会いでした。しかし、不思議なことに緊張は全くなく、とても暖かい居心地の良い場所だったことを覚えています。それは、外国人が日本社会で直面する「はじめまして、NIHAO、Hello」ではなく、「ようこそ、大丈夫ですよ」「私にも教えてください」という姿勢でMIFAの皆さんが接してくれるからだと思っています。MIFAは外国人が異国で暮らす上で、自身のよりどころとなる「心の故郷のようなもの」だからではないでしょうか。私はMIFAと出会い、日本語講座、日本文化体験講座に参加した後、今度は、外国語・外国文化を伝える側として、放課後子ども教室にも参加させていただきました。そして現在は、微力ながらも、MIFAの中国語講座を担当させていただいています。また、私事にて恐縮ですが、今年の1月からは、東京でも、中国語の常勤講師として勤めはじめ、晴れて、我が家の大黒柱になることができました。中国語講師の仕事は、私が大学卒業後から来日時まで、本職としていたもので、これ以上ない幸せをMIFAでの充電期間を経て得ることが出来ました。本当に感謝しております。これからも、慢心せず精一杯務めていければと思います。

# 第21回 MIFAフェスタ

2018.10.14 / 中央公民館

MIFA設立30周年記念式典終了後、午後からはMIFAフェスタを開催。各協力団体や講座受講者の発表など、華やかなステージになりました。折り紙や茶道の日本文化体験コーナーでは、会員どうしの交流も見られ、有意義な時間を過ごすことができました。

- ステージプログラム
- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1. 守谷中学校吹奏楽部 演奏    | 5. 古武道・剣術    |
| 2. JICA研修生の歌と踊り    | 6. ミャンマー民族舞踊 |
| 3. 外国人による着付けと箏の演奏  | 7. ベトナム民族舞踊  |
| 4. 日本語講座学習者によるスピーチ |              |



多くの方に支えられて設立30周年を迎えることができました



守谷中学校吹奏楽部による演奏で華やかに開幕



JICA研修生が歌と踊りを披露



日本文化体験講座の受講者外国人による着物の着付け



着物を着て箏の演奏を披露



茶道体験コーナー



折り紙コーナーで相互交流



がぶりメンチ、焼きそば、綿あめの出店で賑わう屋外会場



ベトナム民族舞踊



ミャンマー民族舞踊



知心五行派刀流による古武道と剣術の演舞



日本語講座学習者による日本語スピーチ



# ラオス招聘事業

2018.7.26 - 8.1



MIFA設立30周年記念事業の一つとして「ラオス招聘事業」を行い、7月29日には「ラオス伝統舞踊と伝統人形劇」をいこいの郷常総で開催。予想をはるかに上回る観客数の中、ラオスの高校生たちは汗を流しながら最後まで笑顔で頑張りました。今回のラオス招聘事業は本当に多くのボランティアの方々によって大成功することができました。ラオスの高校生たちも日本滞在での体験を今後大いに活かすことでしょう。



招聘実現に向けて尽力してくれたJICAの佐藤隊員。コンサートでMCを務めたラオス招聘部会長の吉田篤子さんと。



## ラオス招聘スケジュール

- 7.25 守谷市到着 「いこいの郷常総」へ宿泊
- 7.26 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校にて日本文化体験学習
- 7.27 はとバスにて東京見学
- 7.28 ホストファミリーと対面後ホームステイ
- 7.29 第20回MIFAコンサート
- 7.30 フェアウェルパーティー
- 7.31 ホストファミリーとお別れ
- 8.1 「いこいの郷常総」出発 成田空港へ

## 日本文化体験



取手市にある聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校を訪問。茶道やお箏、書道の体験をし、ランチを共にして、日本の高校生との交流を深めました。



## 東京観光



浅草・皇居・東京タワーを観光。ラオスの高校生たちはどこに行っても元気いっぱい、こちらがパワーをもらうほどでした。



## ラオス大使館を訪問

2018年7月、ラオスの水力発電ダムが決壊。10カ所以上の村が浸水し、多くの被災者を出す大惨事となりました。MIFAは、ラオス招聘事業にお

いて、いち早くダム決壊に伴う災害への義援金を集め、駐日ラオス大使館に届けました。

